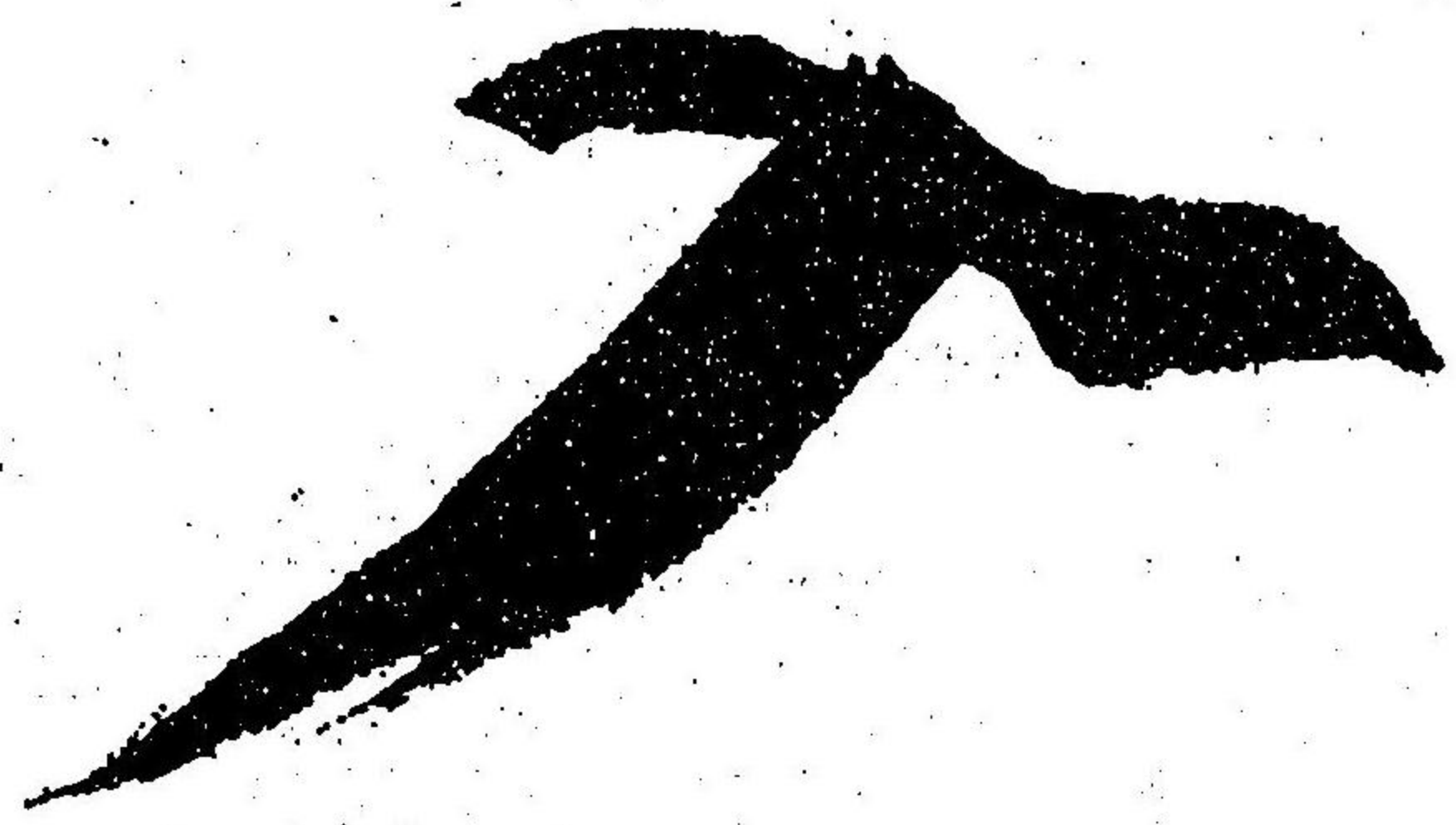


道

女

明治
42 (11)
丙午

美山
社
印



不神

干城題



序

刀劍の装具に於けるや、猶ほ官人の衣冠に於けるがごとき歟、其威力其儀表之あるに依て、始めて能く武功を收むべく、能く徳化を布くべきのみ。是故に、刀劍の世にある、必装具の之に随ふあり。其變遷たる常に人文の進運と相伴ひ、趣味掬すべく、理致觀るべきものあるなり。就中金工の業績に於て、最も其然るを知る。蓋し美術の應用に顯はるゝや、世間其類多く、古來其撰に乏からずと雖ども、一枝の鑿痕、能く萬象を五金に操縦し、細大其情態を描寫曲盡する、我金工の技の妙の如きは、絶えてなくして、僅にあるもの、豈に手藝の上乗なるものにあらずや。

往古は逸たり、致へ易からず。今を距る約千二百年、山背に客小友あり。甲作を以て職司と爲す。吳の歸化人太利須等亦た装劍の古匠たり。早く盛譽を馳す。其他姓氏の人口に膾炙するもの一にして足らずと雖ども、其作品の世間に流布するもの幾んど之あるを知らず。降りて鎌倉の繁榮に及ぶや、斯工も亦た頗る發達したるが如く、其品彙の見るべき者亦た少しとせず。然れども工匠の系統を詳にし、其業の後昆に傳遺する者に至ては、始めて之を室町の時代に尋ぬべきのみ。後藤祐乘天縱の才を以て一世に雄飛し、子孫相繼ぎ、名工の其家に出づる者勝て數ふべからず。是時の方で、別に鑄造を以て名を爲す者亦た漸く其人あり。信家甲斐に據り、金家山城に興る。曰く埋忠、曰く正阿彌、江戸に、熊本に、萩に、彦

根に、良工名匠隨所に現はれ、門葉各地に振ふ。殊に慶元偃武の後に至りては、刀劍の屬品、所謂小道具の製作に従事する者、都鄙に普ねく、家に其技を専らにし、其業に勵み、或は意匠の精妙を競ひ、或は作致の高雅を銜ふ。機巧百出端倪し易からず。其弊や模倣是事とし、動もすれば騙詐の術を肆にするの迹亦た希ならず。是に於てか其傳統を探り、其流派を明にし、逐一其異同を辨し、其眞贋を別つに至ては、慣家と雖ども萬に一失なきを保せず。况んや吾儕後進に於てをや。畏友桑原双蛙君、夙に斯工の論議に精しく、其鑒識實に一世に高し。嘗て装劍金工談を著はし、今又彫金家年表の撰述あり。惟ふに是れ君が積年廣索深究の成績に成るもの。君に在ては纔に其餘緒たるに過ぎずと雖ども、吾儕同人の蒙を啓

四
き誤を正すに於て、其賜の甚だ大なるものあるを信ず。聊か所感
を陳べ、以て之が序と爲す。

明治丁未仲春

於東京

秋水軒長賀識

凡例

- 一 本書は、予が明治三十六年十月以來、刀劍會誌並に日本美術上に掲載せし所のものを増減修正せしものなり。
- 一 本書中、單に名諱を記して姓氏を識さざるものは、總て後藤氏なりと知るべし。
- 一 本書が、畫工宗丹、鏝工義有、刀工兼元等の以前に溯らざる者は、元來本書は主として彫金工則ち祐乘以後諸工の生死年月を稽格し、之に對照する爲め、祐乘以後の畫工、鏝工、刀工等の最顯著なるものを集録せしを以てなり。
- 一 本書目次中、人名下右方の丁數は出生年月を、左方に記する丁

數は死亡年月を中央に記する丁數は單に年代を表示す。

一卷頭に和曆永享洋曆千四百二十九年以後の兩曆對照表を附し、彼我時代の搜索に便ならしむ。

一光琳、立圃、師宣、豊春、其他の歿年月及び享年に就きて諸書異同あり、予は其の最も根據あるものを採用せり。

永享以後年號一覽

永享	二	嘉吉	三	文安	五	寶徳	三	享徳	三	康正	二	長祿	三
寛正	六	文正	一	應仁	二	文明	一八	長享	二	延徳	三	明應	九
文龜	三	永正	一七	大永	七	享祿	四	天文	二三	弘治	三	永祿	二
元龜	三	天正	一九	文祿	四	慶長	一九	元和	九	寛永	二〇	正保	四
慶安	四	承應	三	明曆	三	萬治	三	寛文	二	延寶	八	天和	三
貞享	四	元祿	一六	寶永	七	正徳	五	享保	二〇	元文	五	寛保	三
延享	四	寛延	三	寶曆	三	明和	八	安永	九	天明	八	寛政	二
享和	三	文化	一四	文政	二	天保	一四	弘化	四	嘉永	六	安政	六
萬延	一	文久	三	元治	一	慶應	三	明治					

和洋兩曆對照表

曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和
1717	二	1695	二	1653	二	1621	七	1589	七一
1718	三	1686	三	1654	三	1622	八	1590	八一
1719	四	1697	四	1655	曆明	1623	九	1591	九一
1720	五	1698	祿元	1656	二	1624	永寬	1592	祿文
1721	六	1689	二	1657	三	1625	二	1593	二
1722	七	1690	三	1658	治萬	1626	三	1594	三
1723	八	1691	四	1659	二	1627	四	1595	四
1724	九	1692	五	1660	三	1628	五	1596	長慶
1725	〇一	1693	六	1661	文寬	1629	六	1597	二
1726	一一	1694	七	1662	二	1630	七	1598	三
1727	二一	1695	八	1663	三	1631	八	1599	四
1728	三一	1696	九	1664	四	1632	九	1600	五
1729	四一	1697	〇一	1665	五	1633	〇一	1601	六
1730	五一	1698	一一	1666	六	1634	一一	1602	七
1731	六一	1699	二一	1667	七	1635	二一	1603	八
1732	七一	1700	三一	1668	八	1636	三一	1604	九
1733	八一	1701	四一	1669	九	1637	四一	1605	〇一
1734	九一	1702	五一	1670	〇一	1638	五一	1606	一一
1735	〇二	1703	六一	1671	一一	1639	六一	1607	二一
1736	文元	1704	永寶	1672	二一	1640	七一	1608	三一
1737	二	1705	二	1673	寶延	1641	八一	1609	四一
1738	三	1706	三	1674	二	1642	九一	1610	五一
1739	四	1707	四	1675	三	1643	〇二	1611	六一
1740	五	1708	五	1676	四	1644	保正	1612	七一
1741	保寬	1709	六	1677	五	1645	二	1613	八一
1742	二	1710	七	1678	六	1646	三	1614	九一
1743	三	1711	德正	1679	七	1647	四	1615	和元
1744	享延	1712	二	1680	八	1648	安慶	1616	二
1745	二	1713	三	1681	和天	1649	二	1617	三
1746	三	1714	四	1682	二	1650	三	1618	四
1747	四	1715	五	1683	三	1651	四	1619	五
1748	延寬	1716	保享	1684	享貞	1652	應承	1620	六

曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和
1557	三	1525	五	1493	二	1461	二	1429	享永
1558	祿永	1526	六	1494	三	1462	三	1430	年二
1559	二	1527	七	1495	四	1463	四	1431	三
1560	三	1528	祿享	1496	五	1464	五	1432	四
1561	四	1529	二	1497	六	1465	六	1433	五
1562	五	1530	三	1498	七	1466	正文	1434	六
1563	六	1531	四	1499	八	1467	仁應	1435	七
1564	七	1532	文天	1500	九	1468	二	1436	八
1565	八	1533	二	1501	龜文	1469	明文	1437	九
1566	九	1534	三	1502	二	1470	二	1438	〇一
1567	〇一	1535	四	1503	三	1471	三	1439	一一
1568	一一	1536	五	1504	正永	1472	四	1440	二一
1569	二一	1537	六	1505	二	1473	五	1441	吉嘉
1570	龜元	1538	七	1506	三	1474	六	1442	二
1571	二	1539	八	1507	四	1475	七	1443	三
1572	三	1540	九	1508	五	1476	八	1444	安文
1573	正天	1541	〇一	1509	六	1477	九	1445	二
1574	二	1542	一一	1510	七	1478	〇一	1446	三
1575	三	1543	二一	1511	八	1479	一一	1447	四
1576	四	1544	三一	1512	九	1480	二一	1448	五
1577	五	1545	四一	1513	〇一	1481	三一	1449	德寶
1578	六	1546	五一	1514	一一	1482	四一	1450	二
1579	七	1547	六一	1515	二一	1483	五一	1451	三
1580	八	1548	七一	1516	三一	1484	六一	1452	德享
1581	九	1549	八一	1517	四一	1485	七一	1453	二
1582	〇一	1550	九一	1518	五一	1486	八一	1454	三
1583	一一	1551	〇二	1519	六一	1487	享長	1455	正廉
1584	二一	1552	一二	1520	七一	1488	二	1456	二
1585	三一	1553	二二	1521	永大	1489	德延	1457	祿長
1586	四一	1554	三二	1522	二	1490	二	1458	二
1587	五一	1555	治弘	1523	三	1491	三	1459	三
1588	六一	1556	二	1524	四	1492	應明	1460	正寬

和洋兩曆對照表

曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和	曆洋	曆和
1877	〇一	1845	二	1813	〇一	1781	明天	1749	二
1878	一一	1846	三	1814	一一	1782	二	1750	三
1879	二一	1847	四	1815	二一	1783	三	1751	曆寶
1880	三一	1848	永嘉	1816	三一	1784	四	1752	二
1881	四一	1849	二	1817	四一	1785	五	1753	三
1882	五一	1850	三	1818	政文	1786	六	1754	四
1883	六一	1851	四	1819	二	1787	七	1755	五
1884	七一	1852	五	1820	三	1788	八	1756	六
1885	八一	1853	六	1821	四	1789	政寬	1757	七
1886	九一	1854	政安	1822	五	1790	二	1758	八
1887	〇二	1855	二	1823	六	1791	三	1759	九
1888	一一	1856	三	1824	七	1792	四	1760	〇一
1889	二二	1857	四	1825	八	1793	五	1761	一一
1890	三二	1858	五	1826	九	1794	六	1762	一二
1891	四二	1859	六	1827	〇一	1795	七	1763	三一
1892	五二	1860	延萬	1828	一一	1796	八	1764	和明
1893	六二	1861	久文	1829	二一	1797	九	1765	二
1894	七二	1862	二	1830	保天	1798	〇一	1766	三
1895	八二	1863	三	1831	二	1799	一一	1767	四
1896	九二	1864	治元	1832	三	1800	二一	1768	五
1897	〇三	1865	應慶	1833	四	1801	和享	1769	六
1898	一三	1866	二	1834	五	1802	二	1770	七
1899	二三	1867	三	1835	六	1803	三	1771	八
1900	三三	1868	治明	1836	七	1804	化文	1772	永安
1901	四三	1869	二	1837	八	1805	二	1773	二
1902	五三	1870	三	1838	九	1806	三	1774	三
1903	六三	1871	四	1839	〇一	1807	四	1775	四
1904	七三	1872	五	1840	一一	1808	五	1776	五
1905	八三	1873	六	1841	二一	1809	六	1777	六
1906	九三	1874	七	1842	三一	1810	七	1778	七
		1875	八	1843	四一	1811	八	1779	八
		1876	九	1844	化弘	1812	九	1780	九

彫金家年表目次 附畫工等目次

後藤家之部

祐乘	八四	宗乘	二五	乘真	八四	光乘	二八〇	德乘	三三	榮乘	二八六	顯乘	三二八	即乘	三三
程乘	三三	廉乘	三〇	通乘	三三	壽乘	五九七	延乘	六五九	桂乘	六四	真乘	八八一	方乘	八七七
典乘	八八三	長乘	二八四	立乘	三三	覺乘	三九	乘春	二〇	乘圓	三〇〇	休乘	三三〇	元乘	二四
乘勢	三三	清乘	初代	琢乘	三三	石乘	三二七	乘閑	二七	寬乘	三二七	般乘	三六〇	益乘	四二四
海乘	三三	泰乘	三〇三	俊乘	三三	嶺乘	三三	順乘	三三	寂乘	三五	演乘	三三五	乘惠	三六
悅乘	三三	乘賢	三三	達乘	三三	乘白	三三	乘智	三三	快乘	三三	林乘	三三	閑乘	三三
列乘	三三	乘香	三三	光平	三三	說乘	三三	乘三	三三	光連	三三	慶乘	三三	運乘	三三
仙乘	三三	實乘	三三	清乘	三三	舩乘	三三	傳乘	三三	膳乘	三三	全乘	三三	乘興	三三

乘有^{五六} 隆乘^{五六} 玄乘^{五六} 乘巴^{五六} 乘孚^{五六} 慎乘^{五六} 法乘^{五七} 籌乘^{五七}
 蓮乘^{五六} 乘蓮^{五八} 乘與^{五七} 就乘^{六〇} 乘信^{六〇} 清乘^{六二} 清乘^{六四} 謙乘^{六四}
 可乘^{六五} 龜乘^{六五} 球乘^{六四} 乘智^{六六} 圓乘^{六七} 重乘^{六七} 文乘^{六七} 華乘^{七八}
 光熙^{六七} 東乘^{六八} 光文^{六八} 蓮乘^{七七} 久乘^{七八} 全乘^{七三} 光博^{七五} 光佐^{七三}
 一乘^{八二} 乘雲^{八〇} 春乘^{八八} 乘精^{八八} 清乘^{八四} 辨乘^{八三} 美乘^{八九}

彫工諸家之部

重次^{三五} 重治^{三六} 重光^{三六} 重吉^{三八} 重吉^{五七} 重光^{五九} 重賢^{五三} 重良^{五八}
 重次^{六〇} 宗家^{三四} 宗次^{三四} 宗印^{三五} 宗與^{四六} 宗珉^{四二} 宗與^{六七} 宗壽^{五八}
 宗弘^{六五} 宗知^{四六} 宗次^{七六} 利輝^{三〇} 利壽^{四二} 利壽^{六六} 利家^{五三} 卓次^{二九}
 卓家^{六四} 卓次^{七二} 卓重^{八四} 卓置^{八七} 長次^{三三} 長常^{七五} 家次^{三三} 家久^{三八}

道仁^{三六} 就一^{三七} 就久^{四三} 就受^{四三} 就門^{六二} 就行^{六六} 就亮^{七七} 忠正^{三八}
 忠正^{四四} 忠時^{六〇} 忠時^{六五} 忠時^{七六} 安親^{六三} 安親^{六七} 安親^{八八} 正虎^{五〇}
 正則^{五〇} 正矢^{五五} 正吉^{五六} 正行^{五六} 正道^{六三} 正次^{六七} 正忠^{六八} 正永^{六八}
 正吉^{七三} 正近^{七四} 正時^{四五} 直政^{六二} 直克^{六三} 直光^{七六} 直故^{七三} 直政^{六八}
 乘意^{五〇} 基董^{五三} 尋甫^{五三} 昌貞^{五三} 兼隨^{五七} 政隨^{五九} 政次^{五九} 政近^{五六}
 政恒^{五六} 政勝^{五七} 政常^{六四} 政方^{六四} 政盧^{六五} 政信^{七二} 政親^{七三} 政明^{七九}
 政直^{八八} 英昌^{六〇} 英秀^{五七} 英精^{六六} 英充^{七〇} 充昌^{七四} 光行^{七四} 光政^{八〇}
 光興^{八五} 光朝^{七七} 光弘^{七三} 一壽^{六三} 一真^{七〇} 一琴^{八九} 一匠^{八九} 誠信^{六三}
 敬明^{八四} 美久^{七六} 通壽^{六五} 矩隨^{七三} 矩隨^{八七} 芳繼^{八六} 昆寬^{七四} 良克^{六八}
 良政^{八七} 良近^{八八} 友武^{七一} 友義^{八三} 秀興^{八七} 秀國^{九〇} 信隨^{八五} 定次^{七二}
 弘廬^{八六} 月山^{八九} 東明^{八九} 篤興^{九七} 篤弘^{八八} 篤明^{九五} 永武^{九〇} 實秋^{八四}

春之八八 春貫八六 夏雄八二 恒次六八

畫家之部

宗丹六	雪舟八	真能七	真藝七	真相七	正信三	元信一六	祐雪一四
松榮二〇	永徳三三	道安一五	山樂二四	友松二七	二天三九	光信二九	孝信二五
探幽四〇	尙信三三	安信四七	昭乘一八	光悅二四	光琳三三	抱一八四	光信一〇
光起四二	光成三三	如慶三二	具慶三三	廣當三三	一蝶三九	嵩谷三九	破笠三〇
文晁三三	雪且三三	蕭白六八	一蕙三三	百川三九	里恭三〇	大雅三六	蕪村三三
竹田三三	半江三三	海屋三三	華山三三	熊斐三三	應舉三三	蘆雪三三	源琦三三
狙仙三〇	岸駒三三	吳春三三	若冲三三	景文三三	豐彦三三	容齋三三	是真三三
曉齋三三	貫魚三三	勝以三三	師宣三三	清信三三	長春三三	懷月堂三三	政信三三

清春五四	友禪五二	祐信六三	祐尹五〇	清倍六五	清滿七一	重長五〇	重政七五
珍重六三	豐信三三	春信三三	湖龍七一	俊滿三三	清長三三	清峯三三	政美三三
政演三三	寫樂三五	豐春三三	豐國三三	豐國三三	豐廣三三	國芳三三	春英三三
春亭三三	英山三三	英泉三三	榮之三三	春章三三	春好三三	石燕三三	歌麿三三
歌麿三三	巢兆三七	雪鼎三三	江漢三三	廣重三三	北齋三三	芳崖三三	芳年三三

鐔工之部

義有九 義直九 信家九 宗家三〇

刀工之部

兼元八	兼元二八	兼定八	兼定二八	兼定三五	兼房八	行光八	行光二八
-----	------	-----	------	------	-----	-----	------

彫金家年表 目次

行廣^五 宗光^八 廣賀^八 綱廣^八 氏房^八 勝光^八 冬廣^八 清光^八
 祐定^八 祐定^八 明壽^{二九} 國廣^{二九} 國重^{三九} 國重^{五三} 國包^{二九} 國安^{三九}
 國路^{三九} 國助^{四四} 國輝^{五一} 政常^{二九} 政長^{五一} 康繼^{二九} 康繼^{四〇} 包保^{四〇}
 加卜^{四〇} 長道^{四〇} 重國^{三〇} 繁慶^{三〇} 忠吉^{三〇} 忠廣^{三九} 忠綱^{三九} 忠吉^{四四}
 正俊^{三〇} 正廣^{五一} 正清^{五四} 正秀^{八三} 金道^{三〇} 安倫^{四四} 安代^{五四} 真改^{五一}
 助廣^{五二} 助直^{五一} 長幸^{五二} 照包^{五二} 虎徹^{五三} 興正^{五三} 是一^{五三} 吉道^{二九}
 貞秀^{八三} 直胤^{八三}

其他名流之部

足利義政^七 小堀遠州^{三七} 松平不昧^{七六一}
 松平樂翁^{八三} 僧一休^七 武野紹鷗^{一七四}

千利休^{三〇} 石川丈山^{三三} 伊勢貞丈^{七三〇}
 野々口立圃^{三三} 井原西鶴^{三三} 太田南畝^{三六一}
 十返舎一九^{八一} 尾形乾山^{三三} 野々村仁清^{三三〇}
 松尾芭蕉^{三三} 左甚五郎^{三三〇} 鶴幸右衛門^{二八}
 樂宗慶^七 樂長次郎^{三三} 樂常慶^{三三}
 樂道入^{三三} 西村善五郎^{三〇} 浪越與二郎^{二四}
 中川紹益^{三三} 古淨味三昌^{三三} 宮崎寒雉^{三三}
 幸阿彌道長^七 幸阿彌長重^{三三} 塗師盛阿彌^{三〇}
 塗師秀次^{三〇} 中村宗哲^{三三} 山本春正^{三三}
 古滿休意^{三三} 古滿休伯^{三三} 鹽見政誠^{三三}
 原羊遊齋^{八五} 玉楮象谷^{八六}

彫金家年表

附 書工、鋳工、刀工、陶工、漆工、鑄工
其他名流年表

桑原羊次郎著



從來世上に有り觸れたる書籍によりて彫金工の生死年月を對照するときは彼此抵牾し、甲乙矛盾し、遂に其の眞偽を辨ず可らず。野田敬明の金工鑑定秘訣の如き、稻葉通龍の裝劍奇賞の如き、素と正確を以て稱せらるるもの、然も尙誤謬なことをせず。殊に鑑定秘訣の如きは地巻即乗の部に於て最も笑ふ可き窮困せし所の拙劣なる捏造あり。予は之を即乗の條下に摘發せんとす。其他

金工銘譜、鑿工譜略の如き、金工鐔寄の如き、金工便覽の如き、謬妄を襲ふに謬妄を以てし、脱漏を繼ぐに脱漏を以てす。固より論ずるに足らず。近くは有名なる田口鼎軒氏監督の下に編纂せられたる大日本人名辭書の如き、近來稀有の好著、各種の部門に涉りて其詳傳を網羅せしは大に多とするに足るとは云へ、其彫金工部門擔任者の飯島半十郎虚心翁なりしことを知らば、其の撰定の最も正確なりと斷言するの難きを知る可し。蓋し予が翁に親炙したる實驗よりせば、翁は蒔繪工に於て、浮世繪師に於ては其傳記に造詣の深きを知れり。然かも金工に就きては予未だ翁の精しきを知らず。故に予は此考中に人名辭書を参照せず、専ら先づ在來の左記諸書を重に對照比較し、生死年月の異同を辨じ、其

二

正鵠を示さんと欲す。尙後藤諸家の年月を主として論ずるの際、奈良、吉岡、横谷、伊藤、柳川、濱野等諸家中の優秀なる諸工の生死年月も其知り得べき範圍に於て之を列記する事とせり。予が主として取調べたる所は後藤家歴代にして、其他の如きは未だ正確とは斷言すべからず。大方の刪正を切望するものなり。尙參考事實として金工に限らず同時の名流を引照し、金工を経とし、他の名流を緯とし以て彼我時代の關係を知るに便ならしむ。予の引用せし書目の重なるものは装劍奇賞、江都金工名譜、金工鑑定秘訣、懷寶劍尺、本朝古今鑿工譜略、金工鐔寄、後藤家譜、後藤銘鑑、鑿工二十八氣象、後藤家過去帖、其他金工に關する諸寫本、現存の後藤丈太郎氏、後藤半左衛門光正氏、後藤八郎兵衛光伸氏、其他

四
の口授若しくは文状は煩に過ぐるを以て之を略す。後藤家過去帖は京都後藤家傳來の原本によりしを以て最も正確なり。工藝鏡、名人忌辰録、墓所一覽等の如きも亦参照せり。

○後藤家元祖祐乘 諱 正奥

後藤右衛門尉基綱の嫡男、幼名經光丸、諱は正奥と云ふ。法印に叙す。二男一女あり。永享十二庚申年生れ、永正九壬申五月七日歿す。享年七十三歳。

装劍奇賞の一説に永享七年の生れ、享年七十八歳と計算せるは誤なり。

工藝鏡に永正九年七十九歳歿すとせしは誤なり。

祐乘は後花園帝即位の第十二年、將軍足利義勝治世の第十三年に誕生す。嘉吉文安寶徳康正長祿寛正文正應仁文明長享延徳明應文龜を經、後土御門帝を過ぎ、義政義尙義視義澄の四將軍を歴て、後柏原帝の御代足利義植治世の第四年に歿せり。

○寛正二年、祐乘二十二歳の時、次男宗乘生る。

○二代宗乘 諱 光武祐宗

後藤祐乘の次男、俗名二郎、諱は祐宗又光武とも云ふ。法眼に叙す。四十歳にて宗乘と改む。一男あり、即ち三代乘真なり。寛正二年巳年生れ、天文七戊戌八月六日享年七十八歳、江州阪本に於て歿す。江都金工名譜、本朝鑿工譜略、工藝鏡及び装劍奇賞の一説と

して長享元年生れ、享年七十八歳を以て、永祿七年甲子八月六日歿せしとするは誤なり。

金工譚寄に文明元年の生として、天文戊戌七年二月十三日享年七十歳にて歿せしとするは誤なり。

宗乗は後花園帝即位の第三十三年、將軍足利義政治世の第十六年に誕生す。文正應仁文明長享延徳明應文龜永正大永享祿を經、後土御門帝、後柏原二帝を過ぎ、義尙義視義澄義植の四將軍を歴て、後奈良帝の御代義晴將軍治世の第十八年に歿せり。

○寛正五年宗乗四歳、祐乘二十五歳の時正月九日小栗宗丹歿、享年六十七歳。

○文明七年宗乗十五歳、祐乘三十六歳の時狩野古法眼元信生。

○文明十年宗乗十八歳、祐乘三十九歳の時蒔繪師幸阿彌元祖道長歿。

○文明十一年宗乗十九歳、祐乘四十歳の時將軍義政東山に隱棲す。

○文明十三年宗乗二十一歳、祐乘四十二歳の時十一月二十一日一休和尚寂、享年八十八歳。

○祐乘、宗乗と同時に眞能、眞藝、眞相、相繼ぎて足利氏の同朋たり。

○明應二年宗乗三十三歳、祐乘五十四歳の時樂元祖宗慶生。

○文龜三年宗乗四十三歳、祐乘六十四歳の時武野紹鴈生。

○永正三年宗乘四十六歲、祐乘六十七歲の時二月十八日僧雪舟寂、享年八十七歲。

○永正九年宗乘五十二歳の時祐乘歿、男乘眞生。

祐乘歿せし永正九年は宗乘の男乘眞誕生し、武野紹鷗十歳、樂宗慶十九歳、狩野正信六十歳、同元信三十八歳、土佐光信七十九歳なり。祐乘、宗乘同時の刀工は關住初代兼光(文安)、孫六兼元(文明)、明應(永正)及び初代兼定(文明)、和泉守兼定(明應)、永正大永、加州住藤原行光(康正)、二代行光(文明)、永正、備前長船住右京亮勝光(文明)、同住左京進宗光(文明)、大永、伯州住廣賀(永正)、天文、相州住綱廣(天文)、關住兼房(文明)、若狹守氏房(文龜)、若州住冬廣(天文)、加州住清光(明應)、永正、備前國長船住與三左衛門尉祐定(永正)、永祿、同住彦兵衛尉祐定(永正)、永

祿)等なり。鑄工は明珍、義有、明珍、義直、明珍、信家等なり。

○三代乘眞 諱 吉久

後藤宗乘の一男、俗名二郎、諱は吉久と云ふ。二男一女あり。永正九年生れ、永祿壬戌五年三月六日戰死す、享年五十一歳。

装劍奇賞、懷寶劍尺、江都金工譜の一説に永正二年の生れ、享年五十八歳とするは誤なり。

金工譚寄に永正六年生れ、天文甲辰十三年三十六歳を以て歿せしとするは誤なり。

乘眞は後柏原帝即位の第十二年、將軍足利義植治世の第四年に誕生す。大永享祿、天文弘治を經、後奈良帝を過ぎ、義晴を歴て、

正親町帝の御代足利義輝治世の第十八年に歿せり。

○永正十六年乘眞八歳、宗乗五十九歳の時狩野松榮生。

○大永二年乘眞十一歳、宗乗六十二歳の時千利休生。

○大永五年乘眞十四歳、宗乗六十五歳の時五月二十日土佐

光信歿、享年九十二歳。

○享祿二年乘眞十八歳、宗乗六十九歳の時乘眞の男光乘生。

○四代光乘 諱 光家

後藤乘眞の嫡男、俗名小二郎、諱は光家、法眼に叙す。乘眞歿後漂泊して母の故郷筑前國丹生に寓居す。筑前國流寓中は龜市と改稱す。二男一女あり。享祿二年生れ、元和六庚申三月十四日歿す。享年

九十二歳なり。

懷寶劍尺に享保元年の生れとし、享年九十三歳とせしは誤なり。

光乘は後奈良帝即位の第二年、將軍足利義晴治世の第九年に誕生す。天文弘治永祿元龜正文祿慶長を經、正親町帝後陽成帝を過ぎ、義輝義榮義昭信長秀吉秀頼家康を歴て、後水尾帝の御代徳川秀忠治世の第十六年に歿せり。

○天文二年光乘五歳、乘眞二十二歳、宗乗七十三歳の時海北友松生。

○天文七年光乘十歳、乘眞二十七歳の時宗乗歿。

宗乗歿せし天文七年は狩野正信八十六歳、狩野元信六十四歳、樂

宗慶四十六歳、武野紹鷗三十六歳、狩野松榮二十歳、千利休十七歳、
海北友松六歳なり。

○天文十二年光乗十五歳、乘眞三十二歳の時、狩野永徳生。

○天文十五年光乗十八歳、乘眞三十五歳の時、樂長次郎長祐
生。

○天文十八年光乗二十一歳、乘眞三十八歳の時、四月二十一日、
狩野正信歿す、享年九十七歳。

○天文十九年光乗二十二歳、乘眞三十九歳の時、光乗の男徳
乗生。

○五代徳乗

諱 光基 光次 正家 正房

後藤光乗の嫡男、俗名源次郎、諱は光基、光次、正家、又正房とも。法眼
に叙す。五男四女あり。天文十九年生れ、寛永八年辛未十月十三日
歿す、享年八十二歳。

懷寶劍尺、裝劍奇賞の一説に、行年八十四歳、天文十七年生れ
とするは誤なり。

江都金工名譜、本朝鑿工譜略、金工譚寄に、行年八十歳、天文二
十一年生れとするは誤なり。

徳乗は奈良帝即位の二十三年、將軍足利義輝治世の第四年
に誕生す。弘治永祿元龜、正文祿慶長、元和を經、正親町後陽成
後水尾三帝を過ぎ、義榮、義昭、信長、秀吉、秀頼、家康、秀忠の治世を
歴て、明正帝の御代、徳川家光治世の第九年に歿せり。

○弘治二年德乘七歳、光乘二十八歳、乘眞四十五歳の時十月二十九日武野紹鷗歿、享年五十四歳。

○弘治三年德乘八歳、光乘二十九歳、乘眞四十六歳の時本阿彌光悦生。

○永祿二年德乘十歳、光乘三十一歳、乘眞四十八歳の時十月六日狩野古法眼元信歿す、享年八十五歳。鑄工中川紹益生。狩野山樂生。

○永祿五年德乘十三歳、光乘三十四歳の時乘眞戦死し、光乗の次男長乗生。七月二十日狩野祐雪歿、享年四十九歳。此年光乗筑前に流寓す。

乘眞の戦死せし永祿五年は中川紹益、狩野山樂各四歳、本阿彌光

悦六歳、樂長次郎長祐十七歳、狩野永徳二十歳、海北友松三十歳、千利休四十一歳、狩野松榮四十四歳なり。關住三代目兼定(天文弘治)は乘眞と同時なり。

○永祿八年德乘十六歳、光乘三十七歳の時狩野光信生。

○永祿九年德乘十七歳、光乘二十八歳の時樂吉左衛門常慶生。

○永祿十二年德乘二十歳、光乘四十一歳の時吉岡家元祖重次生。

○元龜二年德乘二十二歳、光乘四十三歳の時狩野孝信生。光乗筑前より上洛、木下町に居住す。

○天正元年德乘二十四歳、光乘四十五歳の時十月二十一日山田道安歿。

○天正三年德乘二十六歳、光乘四十七歳の時樂道入生。

○天正五年德乘二十八歳、光乘四十九歳の時德乘の長男榮乘生。

○天正六年德乘二十九歳、光乘五十歳の時岩佐又兵衛勝以生。

○六代榮乘 諱 光宗正房正光

後藤德乘の嫡子、俗名源四郎、諱は光宗と云ふ。又は正房正光とも云ふ。二男四女あり。法眼に叙す。天正五年生れ、元和三丁巳四月四日歿、享年四十一歳。

裝劍奇賞の一説に天正三年生れ、享年四十三歳を以て歿せ

しとずるは誤なり。

本朝鑿工譜略、金工譚寄に天正四年生れ、行年四十二歳を以て歿せしとずるは誤なり。

江都金工名譜に文祿三年生れ、享年四十三歳を以て寛永十三年に歿せしとずるは誤なり。

榮乘は正親町帝即位の第二十年、織田信長治世の第五年に誕生す。文祿慶長を經、後陽成帝を過ぎ、秀吉秀頼家康を歴て、後水尾帝の御代徳川秀忠の治世の第十三年に歿せり。

○天正七年榮乘三歳、徳乘三十歳、光乘五十一歳の時小堀遠州生。

○天正十年榮乘六歳、徳乘三十三歳、光乘五十四歳の時宮本

二天生。

○天正十一年榮乘七歳、德乘三十四歳、光乘五十五歳の時石川丈山生。

○天正十二年榮乘八歳、德乘三十五歳、光乘五十六歳の時瀧本坊昭乘生。

○天正十四年榮乘十歳、德乘三十七歳、光乘五十八歳の時徳乘三男にして七代目となりたる顯乘生、長乗の子立乘生。

○七代顯乘 諱 光經光派正繼

後藤徳乗の次男、榮乗の弟、俗名富三郎、源一郎、理兵衛、諱は光經、光派、後に正繼とも、法橋に叙す。三男二女一義子あり。寛永中加賀前

田家より祿百五十石を賜はり、従弟覺乗と交代にて隔年京師より金澤に在留す。然るに兄榮乗歿して、即乗幼年なるが故に家督を預かり、七代目となり、五箇年間即乗を看坊す。天正十四年生れ、寛文三癸卯正月二十八日歿す、享年七十八歳。

江都金工名譜に元和二年生れ、四十八歳にて歿せしとするは誤なり。

顯乘は正親町帝即位の第十四年、豊臣秀吉治世の第四年に誕生す。文祿慶長元和寛永正保慶安承應明暦萬治を經、後水尾帝明正帝後光明帝後西院帝を過ぎ、秀頼家康秀忠家光の治世を歴て、靈元帝の御代徳川家綱治世の第十四年に歿せり。

○天正十七年顯乘四歳、榮乘十三歳、徳乘四十歳、光乘六十一

歳の時長乗の次男覺乗生る。

○天正十八年顯乗五歳、榮乗十四歳、徳乗四十一歳、光乗六十二歳の時、九月十四日狩野永徳歿、享年四十八歳。

○天正十九年顯乗六歳、榮乗十五歳、徳乗四十二歳、光乗六十三歳の時、二月二十八日千利休歿、享年七十歳。

○文祿元年顯乗七歳、榮乗十六歳、徳乗四十三歳、光乗六十四歳の時、榮乗弟乗春歿す。覺乗の弟乗圓生。十月二十一日狩野松榮歿す、享年七十四歳。樂長祐歿、享年四十七歳。

○文祿三年顯乗九歳、榮乗十八歳、徳乗四十五歳、光乗六十六歳の時、徳乗の四男休乗生。左甚五郎生。

○慶長四年顯乗十四歳、榮乗二十三歳、徳乗五十歳、光乗七十

一歳の時吉岡長次生。幸阿彌長重生。住吉如慶生。立圃生。

○慶長五年顯乗十五歳、榮乗二十四歳、徳乗五十一歳、光乗七十二歳の時、榮乗の男八代目即乗生。

○八代即乗 諱 光重

後藤榮乗の次男、俗名龜市、源七郎、四郎兵衛。諱は光重と云ふ。其母故ありて河内國松の花と云ふ所に住居す。同所にて生長、十二歳の時兄乗閑早世せしにつき引取らる。十八歳の時父榮乗歿せしにより四郎兵衛と云ふ家業未熟なるにより叔父顯乗五箇年間家督看坊す。元和七年家督相續して八代目となる。六男あり。慶長五年生る。寛永八年辛未十一月十三日歿す、享年三十二歳。

装劍奇賞の一説に二十八歳とするは誤なり。

江都金工名譜、本朝鑿工譜略及び金工譚寄に寛永十五年生れ、享年三十二歳を以て寛文八年戊申四月十三日歿せしとするは誤なり。

野田敬明は其著金工鑑定秘訣地卷十枚目に於て即乗の折紙を縮寫せし際、予が緒論に於て述べたるが如き甚だ窘窮せし所の捏造をなしたり。而して該著者は又江都金工名譜の著者なるを以て、即乗を以て寛永十五年生れと誤信せしものなり。然るに眞物なる折紙には寛永六年己巳十一月七日とありしなる可く、寛永十五年に孤々の聲を擧げしと臆断せし即乗が如何に名工なりしとは云へ、出生十年以前に

折紙を出す可きの道理なきを以て、假りに之を寛永とせんか、寛永六年は己丑にして己巳にあらず。敬明の窘窮は茲に至つて逃るゝに途なく、遂に折紙中の寛の一字、永の一點は蠶蝕的に之を除き、水字以下を縮寫して年號を不明朦朧の裡に没し、以て金工名譜の即乗歿年の正確を維持せんと欲せしや明かなり。予は毎に怪しむ、斯の如き正確なる折紙を一見せし敬明が、何故に此の確證に因りて即乗歿年の誤謬を歸納的に覺知せざりしかを、予は敬明が故意に寛永の二字を削除するの餘りに大膽に、且つ輕卒至極なるに一驚する者なり。敬明の此の捏造は大に該著書の價值を損するものと謂ふべし。且つ金工鑑定秘訣に引用せし祐乘宗乘等の

作品は殆んど光守光美等の極にかゝるを以て、作品の信用甚だ薄きは予の竊に遺憾となす所なり。

即乗は後陽成帝即位の第十四年、豊臣秀頼治世の第二年に誕生す。元和を經、後水尾帝の御代徳川家光治世の第九年に歿せり。

○慶長七年即乗三歳、顯乘十七歳、榮乘二十六歳、徳乘五十三歳、光乘七十四歳の時六月九日元乗歿す。此人の室は織田信長の妹なり。狩野探幽生、益乘生。

○慶長八年即乗四歳、顯乘十八歳、榮乘二十七歳、徳乘五十四歳、光乘七十五歳の時天下一笠師浪越與二郎實久歿す。顯乗の男九代程乘生。

○九代程乘 諱 光尹 光昌

後藤顯乗の嫡子なり。幼名虎市。又た源一郎、諱は光尹。元和年中に理兵衛光昌と改む。法橋に叙す。三男六女あり。覺乗の誘引により前田家より三十人扶持を給ふ。覺乗病死して男演乘尙幼年なるに付き、程乘に後見仰せ付られ、現米三百俵を給ふ。宗家八代目即乗歿して嗣子廉乘年甫めて四歳なるを以て家督を預り九代目となり、廉乗を看坊する事十七年、廉乘二十歳の時に退隱す。慶長八年生れ、寛文十三(延寶元)癸丑九月十七日歿、享年七十一歳。

装劍奇賞、江都金工名譜、本朝鑿工譜略、金工譚寄に慶長九年生。七十歳にて歿せしとするは誤なり。

程乘は後陽成帝即位の第十七年、徳川家康治世の第一年に誕生す。元和寛永正保慶安承應明暦萬治寛文を經、後水尾帝明正帝後光明帝後西院帝を過ぎ、秀忠家光の治世を歴て、靈元帝の御代家綱治世の第二十四年に歿せり。

○慶長十一年程乘四歳、即乘七歳、顯乘二十一歳、榮乘三十歳、徳乘五十七歳、光乘七十八歳の時、初代清乘生。

○慶長十二年程乘五歳、即乘八歳、顯乘二十二歳、榮乘三十一歳、徳乘五十八歳、光乘七十九歳の時、狩野尙信生。

○慶長十三年程乘六歳、即乘九歳、顯乘二十三歳、榮乘三十二歳、徳乘五十九歳、光乘八十歳の時、六月四日、狩野光信歿、享年四十四歳。肥後鎮工林重治生。

○慶長十四年程乘七歳、即乘十歳、顯乘二十四歳、榮乘三十三歳、徳乘六十歳、光乘八十一歳の時、琢乘の男石乘生。

○慶長十五年程乘八歳、即乘十一歳、顯乘二十五歳、榮乘三十四歳、徳乘六十一歳、光乘八十二年の時、塗師山本春正生。

○慶長十六年程乘九歳、即乘十二歳、顯乘二十六歳、榮乘三十五歳、徳乘六十二歳、光乘八十三歳の時、乘閑歿。

○慶長十七年程乘十歳、即乘十三歳、顯乘二十七歳、榮乘三十六歳、徳乘六十三歳、光乘八十四歳の時、顯乘の二男寛乘生（慶長十八年狩野安信生）。

○元和元年程乘十三歳、即乘十六歳、顯乘三十歳、榮乘三十九歳、徳乘六十六歳、光乘八十七歳の時、海北友松歿、享年八十

三歲。伏見人形祖鰯幸右衛門大阪の役に戰歿す。

○元和二年程乘十四歲、即乘十七歲、顯乘三十一歲、榮乘四十四歲、德乘六十七歲、光乘八十八歲の時三月二十六日長乘歿、享年五十五歲。

○元和三年程乘十五歲、即乘十八歲、顯乘三十二歲、德乘六十八歲、光乘八十九歲の時四月四日六代榮乘歿、享年四十一歲。土佐光起生、塗師中村宗哲生。

○元和四年程乘十六歲、即乘十九歲、顯乘三十三歲、德乘六十九歲、光乘九十歲の時八月三十日狩野孝信歿、享年四十八。

○元和六年程乘十八歲、即乘二十一歲、顯乘三十五歲、德乘七十一歲の時三月十四日四代光乘歿、享年九十二歲。十一月

九日春田卓次歿。

榮乘歿後四年即ち光乘の歿せし元和六年は土佐光起四歲、塗師宗哲四歲、安信八歲、寬乘九歲、山本春正十一歲、石乘十二歲、狩野尙信十四歲、清乘光長十五歲、林重治十三歲、程乘十八歲、狩野探幽十九歲、住吉如慶、吉岡長次、雛屋立圃、幸阿彌長重各二十二歲、即乘二十一歲、休乘左甚五郎各二十七歲、覺乘三十二歲、立乘三十五歲、石川丈山三十八歲、昭乘三十七歲、宮本二天三十九歲、小堀遠州四十二歲、岩佐勝以四十三歲、吉岡重次五十二歲、中川紹益、狩野山樂各六十二歲、本阿彌光悅六十四歲なり。同時の刀工は埋忠明壽(天正寬永)、堀川國廣(天正慶長)、相模守藤原政常(天正慶長)、京住丹波守初代吉道(永祿寬永)、越前初代康繼(天正慶長)、山城大椽國包(慶長寬永)。

南紀重國(慶長)、江戸住繁慶(慶長寛永)、肥前住忠吉(慶長元和)、京初代越中守正俊(永祿寛永)、伊賀守金道(永祿寛永)等なり。塗師盛阿彌、塗師秀次、野々村仁清、西村善五郎、古淨味三昌は天正文祿慶長元和の際なり。鋳工には明珍宗家あり。

○元和七年程乘十九歳即乘二十二歳、顯乘三十六歳、徳乗七十二歳の時顯乗の三男般乗生る。(元和八年六月二十三日中川紹益歿、享年六十四歳)。

○元和九年程乘二十一歳、即乘二十四歳、顯乘三十八歳、徳乗七十四歳の時乘圓歿、享年三十二歳。

○寛永元年程乘二十二歳、即乘二十五歳、顯乘三十九歳、徳乗七十五歳の時奈良家元祖利輝、徳川家光に召出され御彫

物師たり。

○寛永四年程乘二十五歳、即乘二十八歳、顯乘四十二歳、徳乗七十八歳の時即乗の四男十代目廉乗生。立乗の四男海乗生。

○十代廉乗 諱 光侶

後藤即乗の四男、俗名源四郎、二十歳にして四郎兵衛光侶と改む。延寶年間剃髮して廉乗と云ふ。嫡子源四郎光嘉、壯年にして歿せしを以て、仙乗の三男なる光壽を養うて家嗣とす。然るに通乗(光壽)と不和合なるが故に家業の秘傳を教えず。元祿十三年家督を光壽に譲り、京師に隠居す。寛文二年江戸定府の命を蒙り、堀端藏

地並に永留町三丁目二箇所の居地を給ふ。寛永四年生れ、寶永五年十二月二十三日八十二歳にて歿。三男三女あり、悉く早世す、漸く女子一人松葉屋住齊に嫁す。

懷寶劍尺に寛永五年に生れ、享年八十一歳とするは誤なり。廉乘は後水尾帝即位の第十七年、徳川家光治世の第六年に誕生す。正保慶安承應明曆萬治寛文延寶天和貞享元祿を經、明正帝後光明帝後西院帝靈元帝を過ぎ、家綱の治世を歴て、東山帝の御世徳川綱吉治世の第二十八年に歿せり。

○寛永五年廉乘二歳、程乘二十六歳、即乘二十九歳、顯乘四十三歳、徳乘七十九歳の時五月一日春田家次歿。

○寛永六年廉乘三歳、程乘二十七歳、即乘三十歳、顯乘四十四

歳、徳乘八十歳の時即乘の長男乘勢歿。

○寛永七年廉乘四歳、程乘二十八歳、即乘三十一歳、顯乘四十五歳、徳乘八十一歳の時立乘歿、享年四十五歳。

○寛永八年廉乘五歳、程乘二十九歳、顯乘四十六歳の時五代徳乘歿す、享年八十二歳。八代即乘歿、享年三十二歳。程乘家督して九代目となる。泰乘生、住吉具慶生。

徳乘即乘の歿せし寛永八年は海乘五歳、股乘十一歳、土佐光起、塗師宗哲各十五歳、安信十九歳、寛乘二十歳、山本春正廿二歳、石乘二十三歳、尙信二十五歳、初代清乘光長二十六歳、林重治二十四歳、探幽三十歳、立圃、長重、如慶各三十二歳、吉岡長次三十三歳、左甚五郎休乘各三十八歳、覺乘四十三歳、松花堂四十八歳、石川丈山四十九

歲、宮本二天五十歲、小堀遠州五十三歲、岩佐勝以五十四歲、吉岡重次六十三歲、山樂七十三歲、本阿彌光悅七十五歲なり。刀工、塗師、鑄工等は光乘歿年に列記せしものと略同一なるを以て略す。

○寛永十一年廉乘八歲、程乘三十二歲、顯乘四十九歲の時四月二十八日左甚五郎歿、享年四十一歲。顯乘の孫俊乘生。

○寛永十二年廉乘九歲、程乘三十三歲、顯乘五十歲の時八月四日狩野山樂歿、享年七十七歲。五月五日樂吉左衛門常慶歿、享年七十歲。益乘の男嶺乘生。

○寛永十三年廉乘十歲、程乘三十四歲、顯乘五十一歲の時六月四日早田宗家歿。立乘の孫順乘生。

○寛永十四年廉乘十一歲、程乘三十五歲、顯乘五十二歲の時九月十二日元乘の男琢乘歿。二月三日本阿彌光悅歿、享年八十一歲。

○寛永十五年廉乘十二歲、程乘三十六歲、顯乘五十三歲の時八月九日名越家八代目古淨味三昌歿。大和繪師の祖菱川師宣生。吉岡宗次生。

○寛永十六年廉乘十三歲、程乘三十七歲、顯乘五十四歲の時四月二十二日寂乘歿。九月十八日松花堂昭乘歿、享年五十六歲。

○寛永十八年廉乘十五歲、程乘三十九歲、顯乘五十六歲の時吉岡二代目長次歿、享年四十三歲。覺乘の男演乘生。

○寛永十九年廉乘十六歲、程乘四十歲、顯乘五十七歲の時八

月二十日立乗の男乘惠歿。九代程乗の男悦乘生。松尾芭蕉生。井原西鶴生。

○正保二年廉乗十九歳、程乗四十三歳、顯乗六十歳の時五月十九日宮本二天歿、享年六十四歳。

○正保三年廉乗二十歳、程乗四十四歳、顯乗六十一歳の時十月十三日休乗歿、享年五十三歳。七月十三日平田彦四郎道仁歿。土佐光成生。

○正保四年廉乗二十一歳、程乗四十五歳、顯乗六十二歳の時程乗退隠す。廉乗十代目四郎兵衛となる。二月六日小堀遠州歿、享年六十九歳。

○慶安三年廉乗二十四歳、程乗四十八歳、顯乗六十五歳の時

四月七日狩野尙信歿、享年四十四歳。六月二十二日岩佐勝以歿、享年七十三歳。

○慶安四年廉乗二十五歳、程乗四十九歳、顯乗六十六歳の時二月二十日幸阿彌長重歿、享年五十三歳。

○承應元年廉乗二十六歳、程乗五十歳、顯乗六十七歳の時平田就一歿。肥後工林重光生。英一蝶生。

○承應二年廉乗二十七歳、程乗五十一歳、顯乗六十八歳の時六月十五日寛乗歿、享年四十二歳。吉岡重次歿、享年八十五歳。

○明暦二年廉乗三十歳、程乗五十四歳、顯乗七十一歳の時四月二十三日覺乗歿、享年六十八歳。廉乗の男乘賢生。

○明曆三年廉乘三十一歲、程乘五十五歲、顯乘七十二歲の時
赤阪鐔初代忠正歿。二月二日樂道入歿、享年八十三歲。

○萬治三年廉乘三十四歲、程乘五十八歲、顯乘七十五歲の時
二月七日石乘歿、享年五十二歲。

○寬文元年廉乘三十五歲、程乘五十九歲、顯乘七十六歲の時
松重吉生。一月十七日早田家久歿。緒方光琳生。

○寬文二年廉乘三十六歲、程乘六十歲、顯乘七十七歲の時吉
岡宗印生。

○寬文三年廉乘三十七歲、程乘六十一歲の時顯乘歿、享年七
十八歲。十一代通乘生。尾形乾山生。小川破笠生。九月二十九
日古滿休意歿。二代清乘生。

顯乘歿し、通乘の生れし寬文三年は二代清乘、尾形乾山、小川破笠
各一歲、吉岡宗印二歲、松重吉、緒方光琳各三歲、乘賢八歲、英一、蝶、林
重光各十二歲、土佐光成十八歲、悅乘二十二歲、演乘二十三歲、吉岡
宗次廿六歲、順乘二十八歲、嶺乘二十九歲、俊乘三十歲、泰乘、具慶各
三十三歲、海乘三十七歲、殷乘四十三歲、土佐光起四十七歲、山本春
正五十四歲、清乘五十八歲、林重治五十六歲、狩野探幽、益乘各六十
二歲、吉岡長次、雛屋立圃、住吉如慶各六十五歲、石川丈山八十一歲
なり。埋忠明壽(天正寬永)、近江大掾忠廣(寬永)、肥前國忠吉(慶長元和)、
水田國重(寬永)、二代目康繼(寬文)、堀川國廣(天正慶長)、堀川國安(寬永)、
出羽大掾國路(寬永)、一竿子忠綱(明曆)、丹波守吉道(永祿)、伊賀守金道
(永祿)、越中守正俊(永祿)、繁慶(慶長寬永)、南紀重國(慶長)、山城大掾國包

四〇
(慶長寛永)左陸奥守包保(正保)大村加卜(承應)三善長道(萬治)は顯乘
同時の刀工なり。

〇十一代通乘 諱 光尾光照光壽

後藤廉乘の養嗣子にして、實は仙乘の三男なり。俗稱源之丞。後に
四郎兵衛と稱す。光尾又た光照と改む。二十三歳の時嫡家に入家
す。元祿十年家督相續して四郎兵衛光壽と改む。養父廉乘と不和
合に依つて秘傳を授からずと雖ども、生得發明にして終に一風
を現し、名譽を得たり。剃髮して通乗と云。俗に通乗風と云うて町
彫書風同様にて、手薄にして唯々綺麗なる而已。即乘並に廉乗受
領の居地三箇所共差し上げ、正徳五年三月更に京橋新兩替町一

丁目に居地を給ふ。寛文三年生れ、享保六年十二月二十七日五十
九歳にて歿。一男あり龜市と云ふ。

懷寶劍尺、本朝鑿工譜略、江都金工名譜に寛文四年生れ享年
五十八歳とするは誤なり。

裝劍奇賞に寛文九年生、五十三歳とするは誤なり。

通乗は靈元帝即位の第一年、徳川家綱治世の第十四年に誕生
す。延寶天和貞享元祿寶永正徳を經、東山帝を過ぎ、綱吉家宣家
繼の治世を歴て中御門帝の御世、徳川吉宗治世の第六年に歿
せり。

〇寛文四年通乗二歳、廉乘三十八歳、程乘六十二歳の時鳥居
清信生。

○寛文五年通乘三歳廉乘三十九歳程乘六十三歳の時十二月五日益乗歿享年六十四歳。

○寛文六年通乘四歳廉乘四十歳程乘六十四歳の時達乗生。

○寛文七年通乘五歳廉乘四十一歳程乘六十五歳の時奈良三作の一初代奈良利壽生。

○寛文九年通乘七歳廉乘四十三歳程乘六十七歳の時九月三十日野々口立圃歿享年七十一歳。

○寛文十年通乘八歳廉乘四十四歳程乘六十八歳の時繪風彫元祖横谷大宗珉生。奈良三作の一初代土屋安親生。六月二日住吉如慶歿享年七十二歳。

○寛文十一年通乘九歳廉乘四十五歳程乘六十九歳の時平

田就久歿。泰乗の男乗白生。西川祐信生。

○寛文十二年通乘十歳廉乘四十六歳程乘七十歳の時石山基董生。八月十一日乗智歿。五月二十三日石川丈山歿享年九十歳。

○延寶元年通乘十一歳廉乘四十七歳の時九代目程乗歿。

程乗が歿せし延寶元年は石山基董二歳西川祐信及び乗白三歳横谷大宗珉及び初代土屋安親各四歳初代奈良利壽七歳達乗八歳二代清乗尾形乾山小川破笠各十一歳吉岡宗印十二歳緒方光琳松重吉各十三歳乗賢十八歳林重光英一蝶各二十二歳土佐光成二十八歳悦乗西鶴芭蕉各三十二歳演乗三十三歳菱川師宣三十六歳順乗三十八歳嶺乗三十九歳俊乗四十歳海乗四十七歳般

乘五十三歳、土佐光起五十七歳、山本春正六十四歳、清乘六十八歳、林重治六十六歳、狩野探幽七十二歳なり。程乘同時の刀工は顯乘の條に列記せし外に、河内守國助(萬治)、陸奥守忠吉(萬治寛文)、仙臺住安倫(承應)等なり。

○延寶二年通乘十二歳、廉乘四十八歳の時快乘生。十月七日狩野探幽歿、享年七十三歳。

○延寶三年通乘十三歳、廉乘四十九歳の時十二月二十二日林乘歿。

○延寶四年通乘十四歳、廉乘五十歳の時闌乘生。

○延寶五年通乘十五歳、廉乘五十一歳の時赤阪二代目忠正歿。列乘生。

○延寶六年通乘十六歳、廉乘五十二歳の時埋忠就受生。

○延寶七年通乘十七歳、廉乘五十三歳の時乘香生。野村家元祖正時歿。三月三日乘白歿、九歳なり。九月二十日嶺乘歿、享年四十五歳。

○天和二年通乘二十歳、廉乘五十六歳の時一月十三日光平歿。七月二十六日乘香歿、年四歳。九月十八日山本春正歿、享年七十三歳。宮川長春生。

○貞享元年通乘二十二歳、廉乘五十八歳の時説乘生。九月十九日乘賢歿、享年二十九歳。

○貞享二年通乘二十三歳、廉乘五十九歳の時九月四日狩野安信歿、享年七十三歳。

○貞享三年通乘二十四歲、廉乘六十歲の時七月四日海乘歿、享年六十歲。

○貞享四年通乘二十五歲、廉乘六十一歲の時乘三歿。宗知歿。

○元祿元年通乘二十六歲、廉乘六十二歲の時眞乘光連生。十一月三十日初代清乘歿、享年八十三歲。

○元祿二年通乘二十七歲、廉乘六十三歲の時一月十一日般乘歿、六十九歲。

○元祿三年通乘二十八歲、廉乘六十四歲の時十二月十七日橫谷古宗與歿。奥村政信生。

○元祿四年通乘二十九歲、廉乘六十五歲の時九月二十五日土佐光起歿、享年七十五歲。仙乘歿。慶乘歿。肥後工林重治歿、

八十四歲なり。六月二十日運乘歿。

○元祿五年通乘三十歲、廉乘六十六歲の時宗珉門人柳川直政生。

○元祿六年通乘三十一歲、廉乘六十七歲の時演乘歿、享年五十三歲。八月十日井原西鶴歿、享年五十二歲。

○元祿七年通乘三十二歲、廉乘六十八歲の時實乘生。十月十二日松尾芭蕉歿、享年五十三歲。熊代緒江生。

○元祿八年通乘三十三歲、廉乘六十九歲の時十二代壽乘生。土屋二代安親生。五月塗師初代中村方寸齋宗哲歿、享年七十九歲。

○十二代壽乘 諱 光幸光理

後藤通乗の一子、龜市又源之丞光幸と云ふ。享保七年二月家督して四郎兵衛光理と改む。父の業を繼ぐと雖ども不調法にして其名を得ず。元祿八年生る。寛保二年二月九日四十八歳にて歿す。壽乗と諡號す。四男二女あり。嫡子光孝、二男光佐、三男光典、四男他家を繼ぐ。

本朝鑿工譜略に元祿元年生れ、五十五歳歿せしとするは誤なり。

江都金工名譜、懷寶劍尺に元祿二年生れ、五十四歳歿とするは誤なり。

壽乗は東山帝即位の第九年、徳川綱吉治世の第十五年に誕生す。寶永正徳享保元文を經、中御門帝を過ぎ、家宣家繼の治世を歴て、櫻町天皇の御代、徳川吉宗治世の第二十七年に歿せり。

○元祿九年壽乗二歳、通乘三十四歳、廉乘七十歳の時大森重光生。濱野政隨生。

○元祿十一年壽乗四歳、通乘三十六歳、廉乘七十二歳の時彭城百川生。

○元祿十二年壽乗五歳、通乘三十七歳、廉乘七十三歳の時三代目清乘生。

○元祿十三年壽乗六歳、通乘三十八歳、廉乘七十四歳の時吉岡宗次歿す。享年六十三歳。四月十四日順乘歿。享年六十五

歲。

○元祿十四年壽乘七歲、通乘三十九歲、廉乘七十五歲の時體乘生。杉浦乘意生。六月二日泰乘歿、享年七十一歲。

○寶永二年壽乘十一歲、通乘四十三歲、廉乘七十九歲の時大森英昌生。四月三日住吉具慶歿、享年七十五歲。

○寶永三年壽乘十二歲、通乘四十四歲、廉乘八十歲の時鳥居清倍生。柳里恭生。西川祐尹生。

○寶永四年壽乘十三歲、通乘四十五歲、廉乘八十一歲の時赤阪三代目正虎歿。

○寶永五年壽乘十四歲、通乘四十六歲の時廉乘歿、享年八十二歲。野村正則歿。二月十三日悅乘歿、享年六十七歲。

五〇

廉乘歿せし寶永五年は柳里恭、鳥居清倍、西川祐尹各三歲、大森英昌四歲、杉浦乘意、體乘各八歲、清乘十歲、政隨、重光各十三歲、壽乘、二代安親各十四歲、寶乘十五歲、柳川直政十七歲、奥村政信十九歲、列乘三十二歲、長春二十七歲、快乘三十五歲、石山基董三十七歲、横谷宗珉及び初代安親各三十九歲、初代利壽四十二歲、祐信三十八歲、鳥居清信四十五歲、二代清乘、乾山、破笠各四十六歲、宗印四十七歲、松重吉四十八歲、光琳四十八歲、林重光五十七歲、土佐光成六十三歲、師宣七十一歲なり。廉乘同時の刀工は三善政長(延寶)、仙臺住安倫(承應)、出羽大掾行廣(寛文)、河内大掾正廣(寛文)、陸奥守忠吉(萬治、寛文)、井上直改(寛文、延寶)、越前守助廣(寛文、延寶)、近江守助直(天和)、多々良長幸(延寶)、坂倉照包(延寶)、天和貞享、河内守國助(萬治)、伊勢守國輝

(寛文元祿)鬼神九國重(寛文)虎徹興里(萬治)長會根興正(寛文)武藏大
掾是一(寛文)等あり。宮崎友禪齋は天和貞享頃なり。

○寶永六年壽乘十五歲通乘四十七歲の時達乘歿享年四十
四歲。

○寶永七年壽乘十六歲通乘四十八歲の時三月二十一日土
佐光成歿享年六十五歲。

○正徳元年壽乘十七歲通乘四十九歲時石川豊信生石燕生。

○正徳二年壽乘十八歲通乘五十歲の時膳乘歿宮崎寒雉歿。
十一月二十七日傳乘歿。

○正徳四年壽乘二十歲通乘五十二歲の時平田重賢歿。菱川
師宣歿享年七十七歲。

○正徳五年壽乘二十一歲通乘五十三歲の時伊勢貞丈生。

○享保元年壽乘二十二歲通乘五十四歲の時四月六日緒方
光琳歿享年五十六歲。柳川直故伊藤若冲謝蕪村生。

○享保三年壽乘二十四歲通乘五十六歲の時鈴木春信生。

○享保四年壽乘二十五歲通乘五十七歲の時眞乘(光連)歿享
年三十二歲。稻川直克生。

○享保五年壽乘二十六歲通乘五十八歲の時二月二十四日
早田利家歿。吉岡宗印歿享年五十九歲。全乘生。津尋甫生。八
月十日古滿休伯歿。

○享保六年壽乘二十七歲の時十二月二十七日通乘歿享年
五十九歲。十一月五日俊乘歿享年八十八歲。八月十五日乘

與歿。十三代延乘生。辻充昌生。二月十五日柳川元祖政次歿。通乘歿せし享保六年は延乘、充昌各一歳、津尋甫、稻川直克各二歳、鈴木春信四歳、柳川直故、伊藤若冲、謝蕪村各六歳、熊代繡江二十八歳、柳里恭、鳥居清倍各十六歳、大森英昌十七歳、杉浦乘意、體乘各二十一歳、大森重光、濱野政隨各二十六歳、壽乘二十七歳、演乘二十九歳、柳川直政三十歳、政信三十一歳、乘賢、説乘三十八歳、就受四十四歳、列乘四十五歳、長春四十七歳、快乘四十八歳、石山基董五十歳、祐信五十一歳、大宗珉、初代安親各五十二歳、初代利壽五十五歳、鳥居清信五十八歳、尾形乾山五十九歳、鹽見政誠、西村重長、懷月堂、近藤清春は正徳享保の人なり。刀工は薩州住主馬首安代(享保)同主水正正清(享保)等なり。

○十三代延乘 諱 光成光孝

後藤壽乘の次男、源之丞光成と云ふ。兄光佐病身に依て退隱す、寛保二年五月家督して四郎兵衛光孝と改む、享保六年生れ、天明四年九月十八日六十四歳にて歿す、二男三女あり、悉く早世す。

懷寶剣尺に享保九年生れ、享年六十一歳とあるは誤なり。

延乘は中御門帝即位の第十二年、徳川吉宗治世の第六年に誕生す。元文寛保延享寛延寶曆明和安永を經、櫻町帝桃園帝後櫻町帝後桃園帝を過ぎ、徳川家重の治世を歴て、光格帝の御代徳川家治治世第二十三年に歿せり。

○享保七年延乘二歳、壽乘二十八歳の時、野村正矢歿。一宮長

常生。十一月二日乘有歿。

○享保八年延乘三歲、壽乘二十九歳の時野村正吉歿。玄乘生。九月十日隆乘歿。大雅堂生。窪俊滿生。

○享保九年延乘四歲、壽乘三十歳の時辻政近及び伊藤政恒歿。七月四日乘巴歿。正月十三日英一蝶歿。享年七十三歲。

○享保十年延乘五歲、壽乘三十一歳の時慎乘生。玉川美久生。十二月大森重光歿。享年三十歲。或曰く三十二歲。三月二十一日乘孚歿。

○享保十一年延乘六歲、壽乘三十二歳の時勝川春章生。

○享保十三年延乘八歲、壽乘三十四歳の時野村正行歿。

○享保十四年延乘九歲、壽乘三十五歳の時林重光歿。享年七

十八歲。林重吉歿。享年六十九歲。板谷廣當生。七月二十日鳥居清信歿。享年六十六歲。

○享保十五年延乘十歲、壽乘三十六歳の時大森英秀生。高嵩谷生。二月十三日法乘歿。

○享保十六年延乘十一歲、壽乘三十七歳の時壽乘生。

○享保十七年延乘十二歲、壽乘三十八歳の時連乘(同名二人あり)歿。

○享保十八年延乘十三歲、壽乘三十九歳の時七月二十日快乘歿。享年六十歲。乘與歿。辻政勝歿。八月六日大宗珉歿。享年六十四歲。柳川直光生。圓山應舉生。

○享保十九年延乘十四歲、壽乘四十歳の時十月十三日石山

基董脚墓す享年六十三歳、後藤二代清乘歿享年七十二歳。

八月十九日鈴木宗壽歿。

○享保二十年延乘十五歳、壽乘四十一歳の時濱野昌貞生。鳥居清滿生。歌川豊春生。

○元文元年延乘十六歳、壽乘四十二歳の時十二月十四日初代利壽歿享年七十歳。

○元文二年延乘十七歳、壽乘四十三歳の時、乘蓮歿。

○元文四年延乘十九歳、壽乘四十五歳の時正月二十六日稻川元祖庄三郎重良歿。北尾重政生。

○元文五年延乘二十歳、壽乘四十六歳の時春乘生。濱野兼隨生。

○寛保二年延乘二十二歳の時父壽乘歿享年四十八歳。二月十五日實乘歿享年四十九歳。

壽乘の歿せし寛保二年は春乘、濱野兼隨各三歳、北尾重政四歳、歌川豊春、濱野昌貞、鳥居清滿各八歳、圓山應舉、柳川直光各十歳、壽乘十二歳、大森英秀、高嵩谷各十三歳、板谷廣當十四歳、勝川春章十七歳、慎乘、玉川美久各十八歳、玄乘、大雅堂各二十歳、一宮長常、窪俊滿各二十一歳、延乘、辻充昌各二十二歳、津尋甫、全乘各二十三歳、稻川直克二十四歳、鈴木春信二十五歳、柳川直故、伊藤若冲、謝蕪村各二十七歳、熊代緒江四十九歳、石川豊信三十二歳、柳里恭、鳥居清倍各三十七歳、大森英昌三十八歳、杉浦乘意、體乘四十二歳、三代清乘四十四歳、濱野政隨四十七歳、二代安親四十八歳、西鶴五十歳、柳川直

政五十一歳、奥村政信五十三歳、埋忠就受六十五歳、關乘六十七歳、
初代安親七十三歳、尾形乾山八十歳。

○寛保三年延乘二十三歳の時六月二日尾形乾山歿、享年八十一歳。

○延享元年延乘二十四歳の時二月十日就乘歿、九月二十七日初代安親歿、享年七十五歳、肥後林重次生、岩本昆寛生。

○延享二年延乘二十五歳の時九月七日後藤乘信歿。

○延享三年延乘二十六歳の時赤阪四代忠時歿。

○延享四年延乘二十七歳の時二月七日二代安親歿、享年五十三歳、四代清乘正與生、司馬江漢生、森狙仙生、六月三日小川破笠歿、享年八十五歳。

○寛延二年延乘二十九歳の時岸駒生、太田蜀山人生、三宅英充生。

○寛延三年延乘三十歳の時三代清乘光實歿、享年五十二歳、菊岡光行生、駒井源琦生。

○寶曆元年延乘三十一歳の時五月十八日柳川直故歿、享年三十六歳、延乘の男桂乘生、松平不昧生、九月十一日西川祐信歿、享年八十一歳。

○十四代桂乘 諱 光典、光泰、光備、光守

延乘の男なり、通稱吉五郎、光典、又光泰、光備とも、天明四年十二月家督して四郎兵衛、光守と改む、寶曆元年生れ、享保四年正月四日

五十四歳にて歿。四男一女あり、嫡子光美、二男光求、三男光貞、四男吉五郎は他家を繼ぐ。

江都金工名譜、本朝鑿工譜略に元文五年生れ、享年六十四歳とするは誤なり。

桂乗は桃園帝即位の第五年、徳川家重治世の第七年に誕生す。明和安永天明寛政を經、後櫻町帝後桃園帝を過ぎ、光格帝の御代徳川家治治世の第四十三年に歿せり。

○寶曆二年桂乗二歳、延乘三十二歳の時理忠就受歿、享年七十五歳(或曰寶曆五年に七十九歳と)。平田就門歿。松村吳春生。鳥居清長生。十一月十三日宮川長春歿、享年七十一歳。

○寶曆三年桂乗三歳、延乘三十三歳の時八月二十五日彭城

百川歿、享年五十六歳。

○寶曆四年桂乗四歳、延乘三十四歳の時十二月二十七日關乘歿、享年七十九歳。七月廿二日羽川珍重歿、享年七十餘歳。喜多川歌麿生。

○寶曆五年桂乗五歳、延乘三十五歳の時七月十四日説乘歿、享年七十二歳。武島一壽歿。長澤蘆雪生。

○寶曆六年桂乗六歳、延乘三十六歳の時濱野誠信生。

○寶曆七年桂乗七歳、延乘三十七歳の時十月九日柳川直政歿、享年六十六歳。二月濱野昌貞歿、享年二十三歳。野村正道歿。八月二十二日列乘歿、享年八十一歳。

○寶曆八年桂乗八歳、延乘三十八歳の時、九月五日柳里恭歿、

享年五十三歲。松平樂翁生。

○寶曆九年桂乘九歲。延乘三十九歲の時一月五日全乘歿。享年四十歲。野田敬明生。菊岡光政生。月岡雪鼎生。

○寶曆十年桂乘十歲。延乘四十歲の時六月十日球乘歿。謙乘生。石黒政常生。葛飾北齋生。

○寶曆十一年桂乘十一歲。延乘四十一歲の時六月津尋甫歿。享年四十二歲。十一月廿三日早田卓家歿。九月二十四日杉浦乘意歿。享年六十一歲。二月稻川直克歿。享年四十二歲。辻政方歿。酒井抱一生。北尾政演(岩瀬京傳)生。北尾政美(鍛形)齋生。

○寶曆十二年桂乘十二歲。延乘四十二歲の時勝川春英生。八

月二十五日西川祐尹歿。享年五十七歲。

○寶曆十三年桂乘十三歲。延乘四十三歲の時十二月二日鳥居清倍歿。享年五十八歲。

○明和元年桂乘十四歲。延乘四十四歲の時吉岡宗弘歿。赤阪五代忠時歿。岩間政盧生。谷文晁生。

○明和二年桂乘十五歲。延乘四十五歲の時可乘生。龜乘生。

○明和三年桂乘十六歲。延乘四十六歲の時六月六日大月光興生。

○明和五年桂乘十八歲。延乘四十八歲の時谷田部通壽歿。二月十一日奥村政信歿。享年七十九歲。

○明和六年桂乘十九歲。延乘四十九歲の時十月二十六日濱

野政隨歿享年七十四歲。初代歌川豊國生。

○明和七年桂乘二十歲延乘五十歲の時平田就行歿。六月十五日鈴木春信歿享年五十三歲。勝川春亭生。

○明和八年桂乘二十一歲延乘五十一歲の時十一月八日二代利壽歿。二代矩隨生。

○安永元年桂乘二十二歲延乘五十二歲の時六月英昌歿享年六十八歲。十二月二十八日熊代繡江歿享年七十九歲。乘智生。七月三日横谷英精歿。

○安永二年桂乘二十三歲延乘五十三歲の時岡本豊彦生。歌川豊廣生。

○安永四年桂乘二十五歲延乘五十五歲の時蘭部芳繼生。

○安永五年桂乘二十六歲延乘五十六歲の時九月三十日圓乘歿。八月十六日慎乘歿享年五十二歲。六月濱野兼隨歿享年三十七歲。十二月辻充昌歿享年五十六歲。菊岡光朝生。四月十三日大雅堂歿享年五十四歲。

○安永六年桂乘二十七歲延乘五十七歲の時正月二十六日立乘歿享年五十五歲。三月七日體乘歿享年七十七歲。重乘生。田能村竹田生。

○安永七年桂乘二十八歲延乘五十八歲の時長谷川雪旦生。貫名海屋生。

○安永八年桂乘二十九歲延乘五十九歲の時野村正次歿。七月二十日文乘歿。六月二十八日小宗與歿。松村景文生。二月

二十七日稻川良克歿。

○安永九年桂乘三十歳、延乘六十歳の時野村正忠歿。十二月
運乘同名二人あり歿。

○天明元年桂乘三十一歳、延乘六十一歳の時伊藤正永歿。

○天明二年桂乘三十二歳、延乘六十二歳の時吉岡恒次歿。三
月二十二日尾崎直政歿。岡田半江生。三月二十三日窪俊滿
歿。享年六十歳。

○天明三年桂乘三十三歳、延乘六十三歳の時眞乘光美生。曾
我蕭白歿。十二月二十五日與謝蕪村歿。享年六十八歳。

○十五代眞乘 諱光美

桂乗の嫡子なり、通稱源之丞又龜市光美と云ふ。享和四年四月に
家督して四郎兵衛と改む。性質驕慢にして従前よりの定法たる
同苗家に對する分米等を止む同苗中怒つて出府終に公訴とな
ること三年公の理解によりて總方鎮まると雖も同苗間の不和
絶ゆる事なかりしと。天明三年生。天保五年十二月二十六日五十
二歳にて歿す。眞乗と諡す。五男三女あり。悉く早世す。四男光年家
を續ぐ。

眞乗は光格帝即位の第四年、徳川家治治世の第二十二年に誕
生す。寛政享和文化文政を經、仁孝帝の御代徳川家齊治世の第
四十八年に歿せり。

○天明四年眞乗二歳、桂乗三十四歳の時延乘歿。享年六十四

歲。六月三宅英充歿享年三十六歲。林重次歿享年四十一歲。
野田政明生。五月二十八日伊勢貞丈歿享年七十歲。

延乘歿せし天明四年は眞乘二歲岡田半江三歲松村景文六歲長
谷川雪旦貫名海屋各七歲重乘八歲田能村竹田八歲菊岡光朝九
歲齒部芳繼十歲岡本豐彦歌川豐廣各十二歲乘智十三歲二代矩
隨十四歲歌川豐國十六歲大月光興十九歲可乘龜乘各二十歲谷
文晁岩間政盧各二十一歲抱一京傳政美各二十四歲謙乘二十五
歲葛飾北齋石黒政常各二十五歲野田敬明菊岡光政月岡雪鼎各
二十六歲長澤蘆雪三十歲喜多川歌麿三十一歲松村吳春鳥居清
長各三十三歲駒井源琦菊岡光行三十五歲太田蜀山人岸駒三十
六歲清乘司馬江漢森狙仙各三十八歲北尾重政四十六歲歌川豐

春及び鳥居清滿五十歲圓山應舉柳川直光各五十二歲大森英秀
高嵩谷各五十五歲板谷廣當五十六歲勝川春章五十九歲玉川美
久六十歲一宮長常六十三歲伊藤若冲六十九歲石川豐信七十四
歲なり。細田榮之は天明寛政の人なり。湖龍齋は明和安永頃の人
なり。

○天明五年眞乘三歲桂乘三十五歲の時華乘生。五月二十五
日石川豐信歿享年七十五歲。四月三日鳥居清滿歿享年五
十一歲。八月五日横谷友武歿。

○天明六年眞乘四歲桂乘三十六歲の時二代豐國生。十二月
十八日一宮長常歿享年六十五歲。鳥山石燕歿享年七十六。
○天明七年眞乘五歲桂乘三十七歲の時八月二十九日濱野

矩隨歿享年未詳。鳥居清峰生。

○天明八年真乘六歲、桂乘三十八歲の時光熙生。菊池容齋生。

川原林秀興生。七月十七日卓次歿。壽乘歿享年五十八歲。

○寛政元年真乘七歲、桂乘三十九歲の時岩間信隨生。玉川美

久歿享年六十五歲。

○寛政二年真乘八歲、桂乘四十歲の時東乘生。

○寛政三年真乘九歲、桂乘四十一歲の時一乘生。吉岡定次歿。

○寛政四年真乘十歲、桂乘四十二歲の時十二月八日勝川春

章歿享年六十七歲。池田英泉生。(寛政三年安原友義生)

○寛政五年真乘十一歲、桂乘四十三歲の時渡邊華山生。四月

濱野政信歿享年三十八歲。

○寛政七年真乘十三歲、桂乘四十四歲の時大月光弘生。辨乘
生。浮田一蕙生。七月十七日圓山應舉歿享年六十三歲。

○寛政八年真乘十四歲、桂乘四十五歲の時伊藤正吉歿。

○寛政九年真乘十五歲、桂乘四十六歲の時光博生。十一月十

二日乘智歿享年二十六歲。伊藤政親歿。十月二十五日全乘

(同名ニ)歿。七月十七日板谷廣當歿享年六十九歲。八月八日

駒井源琦歿享年四十八歲。歌川國芳生。安藤廣重生。

○寛政十年真乘十六歲、桂乘四十七歲の時二月光佐歿。四月

大森英秀歿享年六十九歲。

○寛政十一年真乘十七歲、桂乘四十八歲の時六月八日長澤

蘆雪歿享年四十五歲。

彫金家年表

○寛政十二年眞乘十八歳、桂乘四十九歳の時十月菊岡光行
歿、享年五十一歳。伊藤正近歿。九月十日伊藤若冲歿、享年八
十五歳。

○享和元年眞乘十九歳、桂乘五十歳の時六代清乘生。九月岩
本昆寛歿、享年五十八歳。

○文化元年眞乘二十二歳の時桂乘歿、享年五十四歳。八月二
十三日高嵩谷歿、享年七十五歳。

桂乘の歿せし文化元年は六代清乘四歳、光博、歌川國芳、安藤廣重
八歳、大月光弘、浮田一蕙各十歳、渡邊華山十二歳、一乘十四歳、東乘
十五歳、岩間信隨十六歳、光熙、菊池容齋、川原林秀興各十七歳、鳥居
清峰十八歳、二代目豊國十九歳、華乘二十歳、野田政明二十一歳、眞

乘二十二歳、岡田半江二十三歳、松村景文二十六歳、長谷川雪旦、貫
名海屋各二十七歳、重乘二十八歳、田能村竹田二十八歳、菊岡光朝
二十九歳、蘭部芳繼三十歳、岡本豊彦、歌川豊廣各三十二歳、乘智三
十三歳、二代矩隨三十四歳、歌川豊國三十六歳、大月光興三十九歳、
可乘、龜乘各四十歳、谷文晁、岩間政慮各四十一歳、抱一、京傳、政美各
四十四歳、謙乘四十五歳、葛飾北齋、石黒政常各四十五歳、野田敬明、
菊岡光政、月岡雪鼎各四十六歳、喜多川歌麿五十一歳、松村吳春、鳥
居清長各五十三歳、太田蜀山人、岸駒各五十六歳、清乘、司馬江漢、森
狙仙各五十八歳、北尾重政六十六歳、歌川豊春及び鳥居清滿七十
歳、柳川直光七十二歳、高嵩谷七十五歳なり。齋藤寫樂は寛政年中
なり。

○文化二年眞乘二十三歳の時四月二十九日謙乘歿享年四十六歳。十一月六日可乘歿享年四十一歳。赤阪六代忠時歿。青木春貫生、五月三日喜多川歌麿歿、享年五十三歳。

○文化三年眞乘二十四歳の時久乘生。玉楮象谷生。

○文化四年眞乘二十五歳の時柴田是眞生。

○文化五年眞乘二十六歳の時十二月十五日柳川直光歿、享年七十六歳。

○文化六年眞乘二十七歳の時十月十七日重乘歿、享年四十三歳。守住貫魚生。

○文化七年眞乘二十八歳の時岩間弘盧生。

○文化八年眞乘二十九歳の時井上宗次歿。七月十七日松村

吳春歿、享年六十歳。

○文化九年眞乘三十歳の時運乘歿。

○文化十年眞乘三十一歳の時四月二十三日菊岡光朝歿、享年三十八歳。十一月十七日笹山篤興生。

○文化十一年眞乘三十二歳の時四代清乘歿、享年六十八歳。

和田一眞生。正月十二日歌川豊春歿、享年八十歳。十一月十七日建部巢兆歿。

○文化十二年眞乘三十三歳の時松尾月山生。六月五日鳥居清長歿、享年六十四歳。

○文化十三年眞乘三十四歳の時平田就亮歿。九月七日北尾政演歿。享年五十六歳。十六代目方乘生。

○十六代方乘 諱 光年光晃

眞乗の四男、新次郎又源之丞、光年ト云。天保六年四月に家督して四兵郎衛光晃と改、父の業を繼ぐ。一男子あり吉五郎と云、吉五郎十三歳の時嘉永年中金座後藤三右衛門不正の事故にて改易せられたるを以て、公命により右吉五郎へ更に金座役拜命仰せ付られ、従前の屋舗並に二十人扶持を給ふ。是に於て四郎兵衛家相續の人なし、荏苒歲月を閲し、後嗣に付苦慮中、安政三年六月二十二日を以て歿、享年四十一歳なり。方乗と諡す。

方乗は光格帝即位の第四十二年、徳川家齊治世の第三十年に誕生す。文政天保弘化嘉永を經、仁孝帝の御代徳川家定治世の

第三年に歿せり。

○文化十四年方乘二歳、眞乗三十五歳の時荒木東明生。

○文政元年方乘三歳、眞乗三十六歳の時十月二十一日司馬江漢歿、享年七十二歳。四月二十四日松平不昧薨、享年六十八歳。今井永武生。

○文政二年方乘四歳、眞乗三十七歳の時七月二十六日勝川春英歿、享年五十八歳。二月十一日北尾重政歿、享年八十一歳。

○文政三年方乘五歳、眞乗三十八歳の時八月三日勝川春亭歿、享年五十一歳。

○文政四年方乘六歳、眞乗三十九歳の時十二月二日野田政

明歿享年三十八歲。光文生。七月二十一日森狙仙歿享年七十五歲。

○文政五年方乘七歲真乘四十歳の時七月十二日春乘歿享年八十三歲。八月乘雲歿。船田一琴生。

○文政六年方乘八歲真乘四十一歳の時四月六日太田蜀山人歿享年七十五歲。

○文政七年方乘九歲真乘四十二歳の時五月十日菊岡光政歿享年六十六歲。三月二十一日北屋政美歿享年六十四歲。

○文政八年方乘十歲真乘四十三歳の時三月一日野田敬明歿享年六十七歲。正月七日歌川豐國歿享年五十七歲。三月十日川原林秀國生。文政十年勝川春好歿。

○文政十一年方乘十三歲真乘四十六歳の時七月石黑政常歿享年六十九歲。十一月廿九日酒井抱一歿享年六十八歲。五月二十三日歌川豐廣歿享年五十六歲。加納夏雄生。狩野芳崖生。

○文政十二年方乘十四歲真乘四十七歳の時二月二十七日龜乘歿享年七十五歲。中川一匠生。松平樂翁薨享年七十二歲。七月二日細田榮之歿。

○天保二年方乘十六歲真乘四十九歳の時七月二日笹山篤弘生。河鍋曉齋生。十返舎一九歿。

○天保五年方乘十九歳の時真乘歿享年五十二歲。八月十五日大月光興歿享年六十九歲。

眞乘歿せし天保五年は河鍋曉齋、笹山篤弘四歳、中川一匠六歳、加納夏雄、狩野芳崖各七歳、川原林秀國十歳、船田一琴十三歳、光文十四歳、荒木東明十八歳、松尾月山二十歳、和田一真二十一歳、笹山篤興二十二歳、岩間弘盧二十五歳、守住貫魚二十六歳、久乘象谷各二十九歳、清乘三十四歳、光博、歌川國芳、安藤廣重三十八歳、辨乘、浮田一蕙、大月光弘各四十歳、渡邊華山四十二歳、一乘四十四歳、東乘四十五歳、端信盧四十六歳、光熙、菊池容齋、川原林秀興各四十七歳、鳥居清峰四十八歳、二代豊國四十九歳、華乘五十歳、岡田半江五十三歳、松村景文五十六歳、長谷川雪旦、貫名海屋各五十七歳、田能村竹田五十八歳、蘭部芳繼六十歳、岡本豊彦六十二歳、二代矩隨六十四歳、岩間政盧、谷文晁各七十一歳、葛飾北齋七十五歳、月岡雪鼎七十

六歳、岸駒八十六歳、二代歌磨、菊川英山は文化文政年中の人、刀工は水心子正秀、寛政文政、水塞子貞秀、文化、大慶、直胤、文政等なり。

○天保六年方乘二十歳の時十七代典乘光則生、乘精生。二月十三日岩間弘盧歿、享年二十六歳。八月二十九日田能村竹田歿、享年五十九歳。十二月四日月岡雪鼎歿、享年七十七歳。

○十七代典乘 諱 光平光則

久乘光覽の次男、常太郎光平と云ふ。光平十八歳の時江戸に至り、方乘の従弟新三郎光庸半左衛門光正と共に四郎兵衛細工場に修行中、方乘死して後繼者なく親戚並に手代共の依怙最負によりて跡目決定せず。斯の如き者二年時に偶々後藤一乘公用にて

在府せしにより、一乗の周旋によりて跡目となり、安政五年五月家督して四郎兵衛光則と改む。蓋し一乗は光則の伯父なり。天保六年生。明治十二年六月五日歿、享年四十五歳。

典乗は仁孝帝即位の第十九年、徳川家齊治世の第四十九年に誕生す。弘化嘉永安政萬延文久元治慶應を經、孝明帝を過ぎ、家慶、定家、家茂、慶喜を歴て、今上帝の御代十二年に歿せり。

○天保七年典乗二歳、方乘二十一歳の時、六代清乗歿、享年三十六歳。四月二十七日、矢島實秋歿。

○天保八年典乗三歳、方乘二十二歳の時、八月十四日岩間政盧歿、享年七十四歳。六月十九日早田卓重歿。

○天保九年典乗四歳、方乘二十三歳の時、十二月五日岸駒歿、

享年九十歳。(天保十年月岡芳年生)

○天保十一年典乗六歳、方乘二十五歳の時、田中篤明生。

○天保十二年典乗七歳、方乘二十六歳の時、二月十四日大月光弘歿、享年四十七歳。十二月十四日谷文晁歿、享年七十八歳。十一月渡邊華山歿、享年四十九歳。

○天保十三年典乗八歳、方乘二十七歳の時、正月二十日蘭部芳繼歿、享年六十八歳。一月四日岩間信隨歿、享年五十四歳。

○天保十四年典乗九歳、方乘二十八歳の時、四月二十六日松村景文歿、享年六十五歳。正月長谷川雪旦歿、享年六十六歳。

○弘化二年典乗十一歳、方乘三十歳の時、九月二十一日光博歿、享年四十九歳。七月十一日岡本豊彦歿、享年七十三歳。原

羊遊齋歿。

○弘化三年典乘十二歲、方乘三十一歲の時岡田半江歿、享年六十五歲。

○弘化四年典乘十三歲、方乘三十二歲の時安原友義歿、享年五十七歲。

○嘉永元年典乘十四歲、方乘三十三歲の時八月二十六日池田英泉歿、享年五十七歲。

○嘉永二年典乘十五歲、方乘三十四歲の時四月十八日葛飾北齋歿、享年九十歲。

○嘉永四年典乘十七歲、方乘三十六歲の時七月二十九日華乘歿、享年六十七歲。十二月十八日辨乘歿、享年五十七歲。十

二月二日川原林秀興歿、享年六十四歲。

○嘉永五年典乘十八歲、方乘三十七歲の時七月一日二代矩隨歿、享年八十二歲。

○嘉永六年典乘十九歲、方乘三十八歲の時正月小栗良政歿。

○安政三年典乘二十二歲の時養父方乘歿、享年四十一歲。二月十七日光禎歿、享年六十九歲。七月十三日早田卓置歿。

方乘の歿せし安政三年は今井永武九歲、乘精廿二歲、笹山篤弘、河鍋曉齋各廿六歲、中川一匠廿八歲、加納夏雄、狩野芳崖各廿九歲、川原林秀國三十二歲、船田一琴三十五歲、光文三十六歲、荒木東明四十歲、松尾月山四十二歲、和田一直四十三歲、守住貫魚四十八歲、柴田是眞五十歲、久乘五十一歲、浮田一蕙六十二歲、安藤廣重六十歲、一乘六十

六歲、東乘六十七歲、菊池容齋六十八歲、貫名海屋七十九歲なり。

○安政四年典乘二十三歳の時矢島春之歿。

○安政五年典乘二十四歳の時五月小栗政直歿。九月六日安藤廣重歿、享年六十二歳。二月十四日青木春貫歿、享年五十四歳。

○安政六年典乘二十五歳の時乘精歿、享年二十五歳。十一月二十三日浮田一蕙歿、享年六十五歳。小栗良近歿。

○萬延元年典乘二十六歳の時六代安親歿。

○文久元年典乘二十七歳の時三月七日歌川國芳歿、享年六十五歳。

○文久二年典乘二十八歳の時正月三十日東乘歿。

○文久三年典乘二十九歳の時十月十八日船田一琴歿、享年五十二歳。五月六日貫名海屋歿、享年八十六歳。

○元治元年典乘三十歳の時美乘歿。十二月十五日二代豊國歿、享年七十九歳。

○明治元年典乘三十四歳の時實父久乘歿、享年六十三歳。十一月二十一日鳥居清峰歿、享年八十二歳。

○明治二年典乘三十五歳の時玉楮象谷歿、享年六十四歳。

○明治三年典乘三十六歳の時四月十九日荒木東明歿、享年五十四歳。

○明治四年典乘三十七歳の時五月二十五日笹山篤弘歿、享年四十一歳。

○明治八年典乘四十一歳の時松尾月山歿享年六十一歳。

○明治九年典乘四十二歳の時十月十七日一乗歿享年八十六歳。中川一匠歿享年四十八歳。

○明治十一年典乘四十四歳の時六月十六日菊池容齋歿享年九十一歳。

○明治十二年典乘歿享年四十五歳。

典乘の歿せし明治十二年は田中篤明四十歳、河鍋曉齋四十九歳、加納夏雄狩野芳崖各五十二歳、川原林秀國五十五歳、光文五十九歳、和田一眞六十六歳、今井永武六十二歳、笹山篤興六十七歳、守住貫魚七十一歳、柴田是眞七十三歳にして典乘歿後明治十五年十一月五日今井永武六十五歳を以て、十二月四日和田一眞六十二

歳を以て歿し、明治二十年五月二十一日光文六十七歳を以て歿し、明治二十一年十一月五日狩野芳崖六十一歳を以て歿し、明治二十二年河鍋曉齋五十九歳を以て、十二月田中篤明五十歳を以て歿し、明治二十三年守住貫魚八十二歳を以て歿し、明治二十四年七月十三日柴田是眞八十五歳を以て、十二月笹山篤興七十九歳を以て歿し、九月二十七日川原林秀國六十七歳を以て歿し、明治二十五年月岡芳年五十四歳を以て歿し、明治三十一年二月加納夏雄七十一歳を以て歿せり。

彫金家年表終

67
301

明治四十二年八月十五日印刷
明治四十二年八月十八日發行

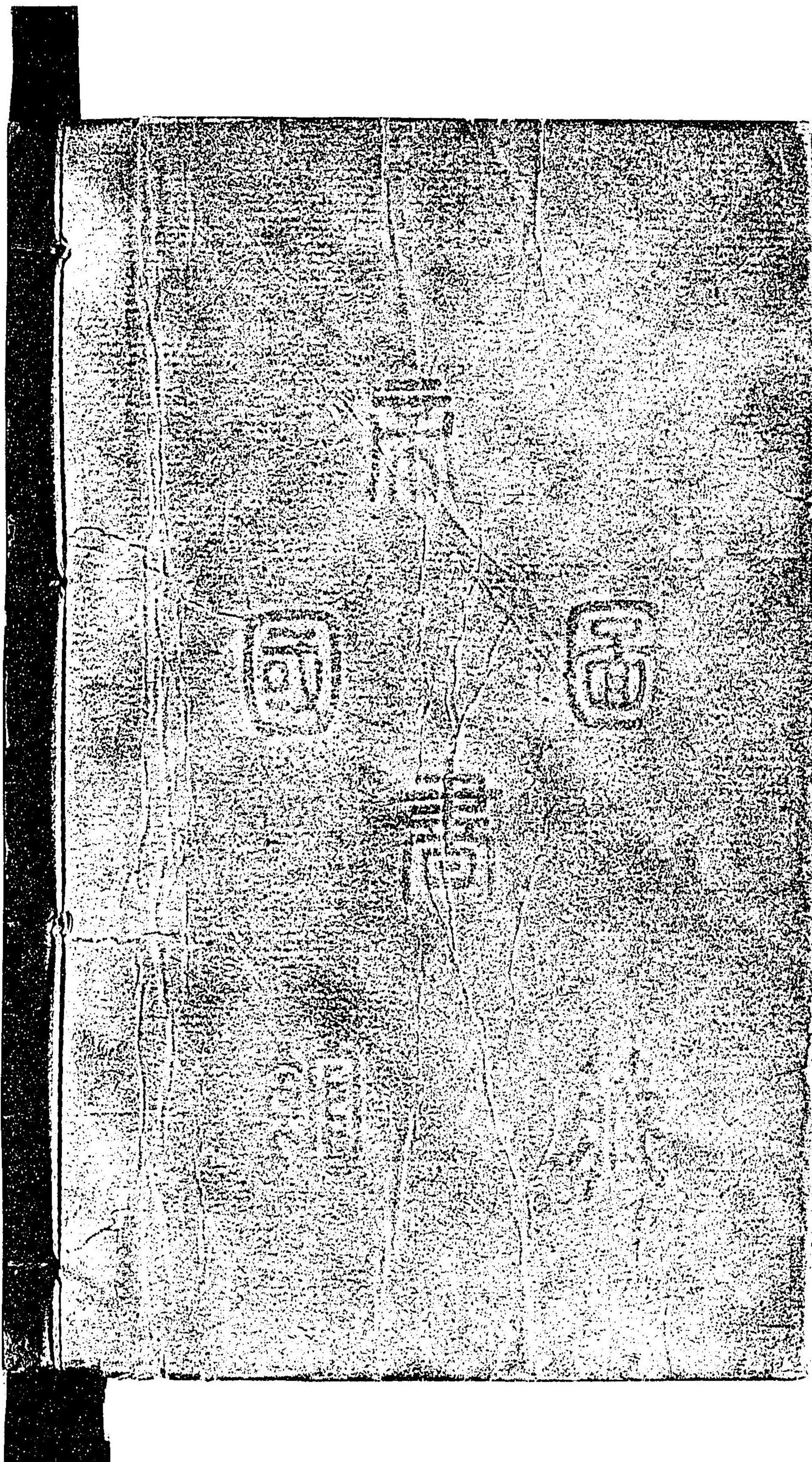
定價金五拾錢

著作
所有

著者	桑原羊次郎	東京市東區區役所三丁目廿一番地
發行者	川崎	東京市本區區役所公土前町三番地
印刷者	神谷岩次郎	東京市日本橋區兜町二番地
印刷所	東京印刷株式會社	東京市日本橋區兜町二番地

發行所 東京駒込富士前 日本美術社

67
301



069442-000-1

67-301

彫金家年表

桑原 羊次郎/編

M42

CEB-0089



